

## 令和4年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

### 1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
兵庫県	丹波篠山市	丹波篠山市	●	●	□	B	令和4年度の取り組み状況は概ね計画どおり進んでいると評価できる。今後は試作した商品の生産拡大のための仕組み検討、関わる人材の増加や多様化に取り組んでいきたい。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

### 3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である兵庫県森林動物研究センター吉崎正美森林動物専門員から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

#### 【第三者】

吉崎正美(兵庫県森林動物研究センター森林動物専門員)

#### 【意見聴取の概要】

試作した商品のコスト管理、全ての消費者に同等の商品を提供できる体制、他商品との差別化(商品の背景にあるストーリーを見える化するなど)が必要で、関わる側だけではなく、受け入れる側(農家)との連携体制の構築も必要である。また、人材育成に係る事業では、講師や内容を更新し、多様な人材が関われるような工夫をされたい。